

「つながる北陸」新幹線レポート：vol.1 越前たけふ駅

“the ECHIZEN” ～越前たけふ駅が呼び覚ますゲニウス・ロキ～

【要旨】

- ・ 北陸新幹線敦賀開業が 2024 年春に迫ってきた。敦賀まで延伸することで、福井県と首都圏が繋がるだけでなく、北陸三県が繋がり地域内の交流が促進される。域外からの来訪者増加により地域経済が活性化することはもちろん、北陸地域内においても移動の利便性と安定性が増し、人流や物流、心象風景が大幅に変容することから、北陸地域全体に大きな変化をもたらすだろう。
- ・ 延伸で新たにできる 6 つの駅のうち、唯一現駅から離れて設置されるのが「越前たけふ駅」である。越前たけふ駅が設置される福井県越前市では、伝統的産業や製造業の生産拠点が集積するものづくり地域として、地場資源を基盤に産業が発達してきた。一方で、域外との交流から生み出される付加価値の創出にはまだ余地がある。新幹線開業は 100 年に 1 度とも言われる契機であるが、さらなる成長を促すにあたり、これまで育ててきた産業や地域の活気を損なうことなく、新幹線効果を上乗せする視点が重要である。
- ・ 新駅の役割について、観光面からは、点在する伝統的工芸品の産地を繋ぐことによる「越前」エリアとしてのブランディング効果が期待される。「越前」と名の付く 5 つの産地は、越前たけふ駅を囲むように立地している。個々に立地している産地を繋ぎエリアとして打ち出すことで、それぞれの伝統的工芸品や、文化・風土などが織りなす産地としての魅力を一層引き立たせることができる。産地の魅力は、富裕層やクリエイティブ層を惹きつけるだろうが、持続可能な観光のためには、受入側・来訪者双方の満足度が高まるような「産地観光」のあり方を目指し、丁寧に取り組むことが望まれる。
- ・ 加えて、新幹線開業は、ビジネス面でも域外から人を呼び込むきっかけとなる。交通網が整い利便性が増すことで、新たに高度な機能/拠点が整備/導入、活用されれば、地域の付加価値生産性が向上する。これまで地域企業や大学が培ってきた技術力をベースにした新規事業創出や脱炭素社会の実現といった新たな挑戦に、地域企業と域外の研究者、地域の学生と域外の起業家など域内外の人材が、それぞれのナレッジを持ち寄りながら、ともに取り組んでいく動きに注目したい。
- ・ 人口 8 万人の越前市にとって、越前たけふ駅の開業による都市機能の重複、都市基盤の分散は回避する必要がある。新駅には、遠方からの来訪者の受入や高次機能の集積、情報発信の窓口など、武生駅と重複しない機能を担わせ、地域に新たな付加価値を生み出す役割が期待されている。あわせて、新駅が担う機能が武生駅周辺の価値向上に寄与し、ひいては地域住民のウェルビーイングを高める仕組みや工夫が求められよう。新幹線駅開業を契機として、関係者がそれぞれの知恵を結集し、「越前」の地に眠る潜在的な力を呼び覚まし、「越前～ECHIZEN～」の地域価値を向上させることが期待される。

(北陸支店 飯田一之、宮原史英子)

2022 年 9 月

株式会社日本政策投資銀行北陸支店

(協力：株式会社日本経済研究所)

「つながる北陸」新幹線レポートシリーズについて

北陸新幹線敦賀開業に伴い、新たに6つの駅(小松駅、加賀温泉駅、芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅、敦賀駅)が設置される。日本政策投資銀行北陸支店では、敦賀開業を迎える北陸地域の各エリアに焦点をあて、北陸新幹線開業が地域にもたらす影響や変化、開業効果を最大限に活かす視点について考察するレポートを複数回にわたり取りまとめる。第一弾となる本稿では、越前たけふ駅(福井県越前市)を取り上げる。



(当行撮影)

ゲニウス・ロキ (Genius Loci)

ラテン語の「ゲニウス (Genius) : 事物に付随する守護霊」と「ロキ (Locī) : 場所・土地」からなり、「土地の精霊」や「地霊」と訳される。

場所の特質を指し、物理的な形状に由来するものだけでなく、歴史・文化の蓄積によって生み出される類型化できない固有の価値、それを体現している特別な場所をいう。

“ある場所の『雰囲気』がそのまわりと異なり、ある場所が神秘的な特性を持っており、そして何か神秘的なできごとや悲劇的なできごとが近くの岩や木や水の流れに感性的な影響をとどめており、そして特別な場所性がそれ自体の『精神』をもつとき、そこには『ゲニウス・ロキ』がある。”¹⁾

1) 鈴木博之、東京の〔地霊〕ゲニウス・ロキ、文春文庫、1998、p269.

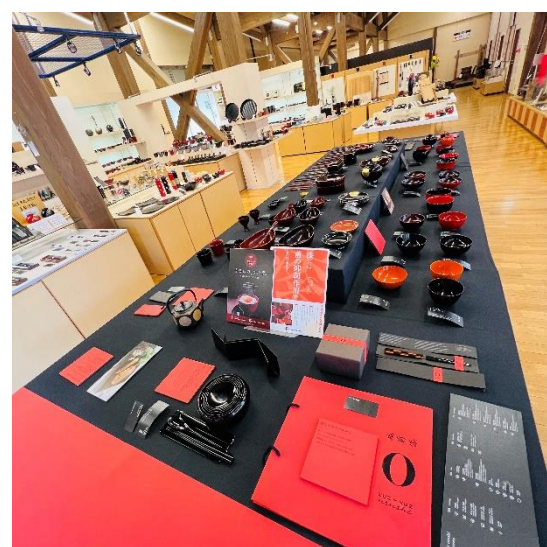
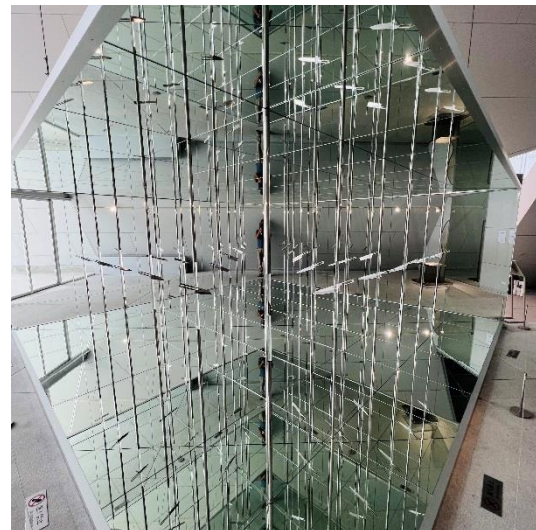
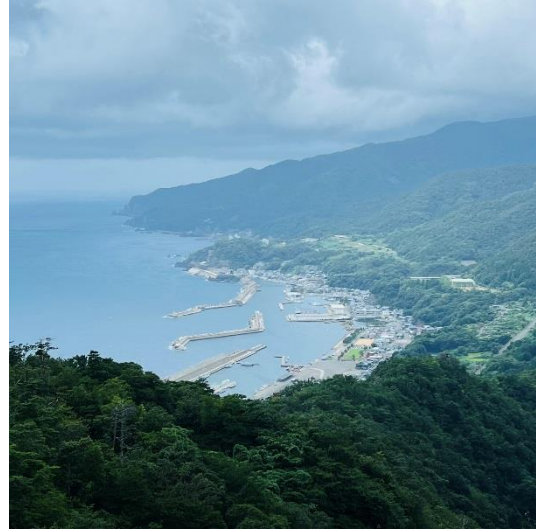
目次

1. 北陸新幹線敦賀開業が北陸地域にもたらす影響
2. 福井県越前市の概要
3. 越前たけふ駅の概要と周辺まちづくり
4. 越前たけふ駅の役割 ① 伝統産業の産地を「つなぎ」、「越前」の潜在力を引き出す
5. 越前たけふ駅の役割 ② 新たな機能を集めることによる、域内の付加価値向上
6. 目指すべき方向性と取り組むべき課題

【Appendix】

1. 国内客/インバウンド客の観光意向調査（抜粋）
2. 北陸新幹線敦賀開業により新たに設置される駅の概要
3. これまで公表した新幹線/観光関連の当行レポート

【越前六景】

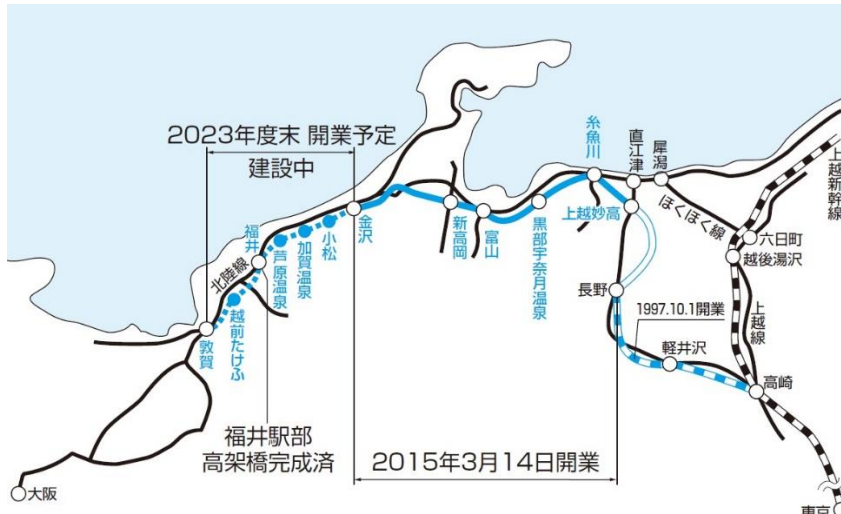


(写真) 左上段「岡太神社・大瀧神社～紙の神様をまつる唯一の神社～」^{おかもと}、右上段「越前海岸～城山橋からの眺め～」
 中段左右「タケフナ Knife Village」、左下段「和紙の里通り」、右下段「越前漆器伝統産業会館(うらの里会館)展示」
 (当行撮影)

1. 北陸新幹線敦賀開業が北陸地域にもたらす影響

- 北陸新幹線敦賀開業が 2024 年春に迫ってきた。敦賀まで延伸することで福井県と首都圏が繋がるだけでなく、2015 年の金沢開業以降再び北陸三県(富山県、石川県、福井県)が鉄道インフラにおいて繋がり、北陸三県内(県都間)が 1 時間以内で結ばれることとなるため、北陸地域内の交流促進が期待される。域外からの来訪者増加により地域経済が活性化することはもちろん、人流や物流、心象風景が大幅に変容することから、北陸全体に大きな変化をもたらすことが予想される【図表 1】。
- 近年は、記録的な豪雨や雪害などによる交通インフラの寸断も記憶に新しい。交通の安定性の観点からも、延伸する金沢以西の地域にとっては特に、新幹線が果たす役割は大きいだろう。
- 敦賀開業は、当初の予定より 1 年延期となった。この間にコロナ禍に入り、開業後の観光需要が掴みにくくなったという点は確かにあるが、コロナ禍を機に、マイクロツーリズムなど新たな観光の形も浸透しつつある【Appendix1-①】。
- また、ウィズコロナ禍下でのインバウンド客の受入も徐々に始まりつつある。金沢開業時を振り返ってみると、当時の全国的な流れもあり、金沢や富山でもインバウンド客の来訪者数が大きく伸びた。日本政策投資銀行と(公財)日本交通公社がコロナ禍(2021 年)にアジア・欧米豪 12 地域の訪日外国旅行者に実施したアンケート調査では、コロナ後のご褒美消費(予算増加)の意向もみられ【Appendix1-②】、北陸地域にとっては、敦賀開業とあわせた効果的な情報発信により今一度誘客を狙う余地は十分ある。

図表 1：北陸新幹線敦賀開業の概要（ルート図）



(出所) JR 西日本(西日本旅客鉄道株)提供

【各県都間の所要時間】

	富山駅	金沢駅	福井駅	敦賀駅	
<新幹線>	23分 (つるぎ)	約21分	約22分		●富山駅～福井駅：約44分 ●金沢駅～敦賀駅：約43分
<在来線>	約60分	特急 約47分 普通 約90分	特急 約33分 普通 約60分		

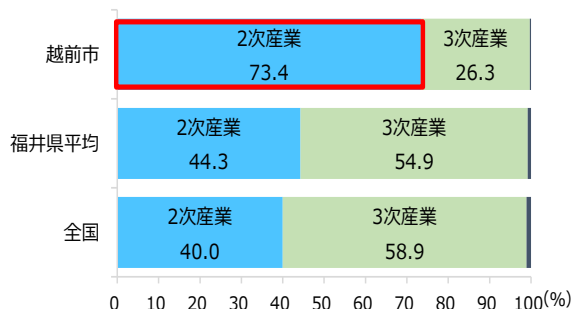
(出所) 2022.8.25 時点 Yahoo!乗換案内、2018.3 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構「北陸新幹線(金沢・敦賀間)事業に関する再評価報告書」、西日本旅客鉄道株「北陸新幹線がつなぐ『北陸』の未来」等を参考に当グループ作成

2. 福井県越前市の概要

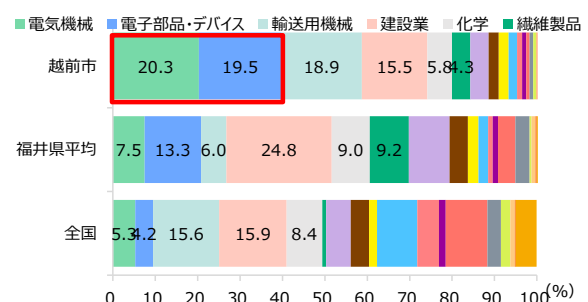
- ・「越前たけふ駅」が設置される福井県越前市は、生産額(1兆707億円(2018年・地域ベース))の7割強を第2次産業が占める。第2次産業(製造業)のうち、電気機械が20.3%、電子部品・デバイスが19.5%と付加価値が高い業種の割合が高い。製造品出荷額では、富山市に次いで北陸第2位(福井県では第1位)の規模がある。製造業を中心に確固たる経済基盤があり、地域住民の所得水準が高いことも特色である。【図表2,3,4】
- ・人口規模(8万人)では、福井市(26万人)、坂井市(9万人)に次ぐ福井県第3の都市であり、武生盆地の中心に市街地を形成している。古くは越前国の中心として、国府が置かれ栄えてきた歴史があり、保有する文化財は県内で最も多い。
- ・このように、伝統的工芸品の産地や製造業の生産拠点の集積などの盤石な地域資源と経済基盤を背景に、現在でもJR武生駅(現駅)周辺を中心に、まちなかには地域に根ざした店舗も多く、一定の賑わいを生み出している。一方で、域外との交流による新たな付加価値創出にはまだ余地があり、さらなる成長を促す契機として新幹線開業に期待される面も大きい。これまで育ててきた産業や地域の活気を損なうことなく、新幹線効果を上乗せする視点が重要である。

図表2：生産額(地域ベース)の内訳(2018年)

① 産業別



② 製造業内訳



図表3：北陸の製造品出荷額等順位(2019年)

自治体名	順位	製造品出荷額等
富山市	1位	13,830億円
越前市	2位	6,489億円
白山市	3位	6,245億円
金沢市	4位	5,781億円
小松市	5位	5,715億円

図表4：住民一人当たり所得水準(2018年)

自治体名等	雇用者所得	その他所得	合計
越前市	300万円	224万円	524万円
福井県	249万円	215万円	464万円
全国	238万円	201万円	439万円

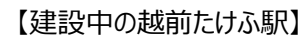
(出所) RESAS・環境省「地域産業連関表」「地域経済計算」(株)価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成、経済産業省「工業統計調査」より作成

(注) 図表2の凡例は主要業種のみ記載。

3. 越前たけふ駅の概要と周辺まちづくり

- ・ 越前たけふ駅は、1 km圏内に、北陸自動車道の武生インターチェンジ、国道 8 号線、県道(菅生武生線)を有し、「越前」を代表する交通結節点となる。
- ・ 延伸により設置される 6 つの駅のうち唯一、現駅(JR 武生駅)併設ではなく新たに設置される駅である。しかも、現駅と直線距離で約 3 km離れ、100ha もの広大な水田に建設される駅として地域にもたらす影響を鑑みると、新駅設置を契機としたまちづくりのビジョンや新駅が担う役割などは注目に値する。
- ・ 越前市では、令和元年度に「南越駅周辺まちづくり計画」を策定し、官民連携で新幹線駅周辺のまちづくりについて協議してきた。開業 1 年前には越前の魅力が集約された「道の駅」がオープンするほか、企業の研究施設などを誘致・整備する構想も具現化に向け動き始めている。また、地域の住民や学生らを巻き込んだワークショップも開かれており、新幹線開業を身近に捉えるための取り組みも進められている。
- ・ 新幹線開業と同時に整備される道路インフラなども含め、多様なアクセスを持つ地域としてのメリットを最大限に活用し、来る開業に向け準備が進められている。

図表 5：越前たけふ駅的位置



(2022 年 8 月 当行撮影)

(出所) 越前市「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画」(2015 年 12 月)

(注 1) 南越駅と仮称されていた新駅は、2021(令和 3)年 5 月に「越前たけふ駅」と正式名称が発表された。

(注2) 越前たけふ駅に隣接する「★」は、道の駅「越前たけふ」(2022年度オープン予定)。

4. 越前たけふ駅の役割 ①伝統産業の産地を「つなぎ」、 「越前」の潜在力を引き出す

- ・ 越前たけふ駅は、地域の可能性をどのように広げるだろうか。
- ・ まず、点在する伝統的工芸品の産地を繋ぐことで、「越前」エリアとしてのブランディング効果が期待される。福井県は7品目の伝統的工芸品を有しており、そのうち「越前」と名の付くものは5品目ある。いずれも産地は越前たけふ駅を囲むように立地しており、これまで分散していた各産地が、越前たけふ駅を介して「つながる」とも言えよう【図表6】。個々に立地している産地をエリアとして打ち出すことで、それぞれの伝統的工芸品や、文化・風土などが織りなす産地としての魅力が一層引き立つ効果が期待される。
- ・ 観光需要の点からみると、特にインバウンド客の日本文化への関心は高く、里山の原風景やそこで生み出される伝統的工芸品、工房体験など、越前エリアは富裕層やクリエイティブ層を惹きつける資源を有している【Appendix1-③】。以前から越前刃物など海外マーケットに向けて展開していた産品も多く、海外顧客の嗜好をある程度押さえているといった点にも優位性があると考えられる。
- ・ 一方で、受け入れた顧客の満足度を高め、再び訪れてもらうためには、①越前の魅力を対象顧客に届ける工夫(情報発信)、②越前たけふ駅から産地まで/産地内の移動手段(二次交通)、③滞在中の産地での対応(受入先の工房など含む地域住民の意識醸成)といった取り組むべき課題もある。
- ・ こうした課題については、開業後も観光客・地域住民双方の声を継続して聴きながら、柔軟に対応していくことが求められる。持続可能な観光のためには、居住者や職人の生活の場でもある地域に受け入れられることが前提であり、個々の旅行者を迎え入れる「ゆるやかな集客」を目指した、受入側・旅行者双方が満足できる「産地観光」のあり方を模索することが望まれる。

図表6：福井県の伝統的工芸品と産地

① 伝統的工芸品

品目名	指定年月日	主な産地
越前漆器	1975年5月10日	鯖江市
越前和紙	1976年6月2日	越前市
若狭めのう細工	1976年6月2日	小浜市
若狭塗	1978年2月6日	小浜市
越前打刃物	1979年1月1日	越前市
越前焼	1986年3月12日	越前町
越前筆筒	2013年12月26日	越前市

② 伝統的工芸品の産地

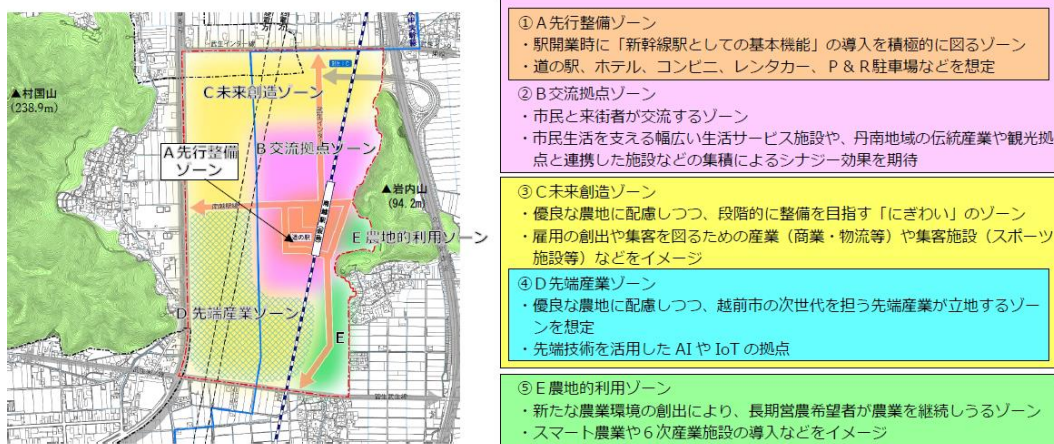


(出所) 福井県ウェブサイト、福井経済新戦略(改訂版)平成27年4月、福井県公式観光サイトふくいドットコムより当行作成
(注) 伝統的工芸品とは、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」(昭和49年法律第57号)に基づく経済産業大臣の指定を受けた工芸品のことで、全国に237品目ある(2022年3月18日時点)。

5. 越前たけふ駅の役割 ②新たな機能を集めることによる、域内の付加価値向上

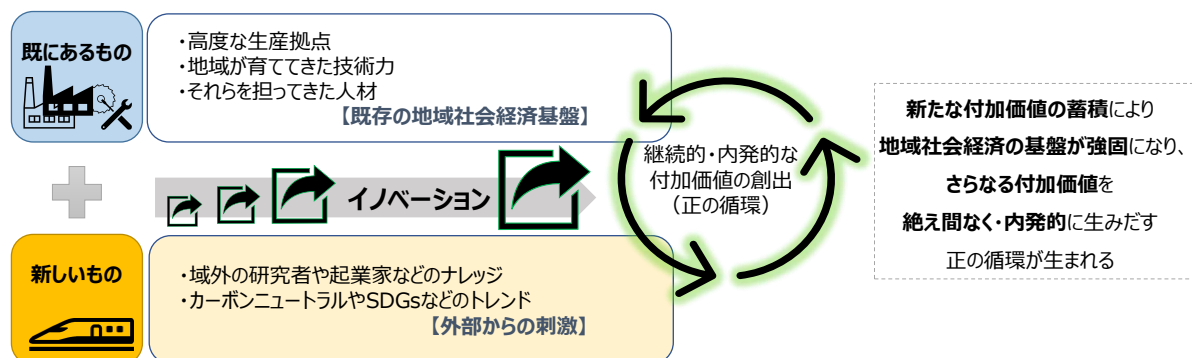
- ・ 前述に加え、新幹線駅周辺に新たな機能を集めることによる域内の付加価値向上にも期待したい。
- ・ 新幹線開業は、観光だけではなく、ビジネス面でも域外から人を呼び込むきっかけとなる。特に、製造業の生産拠点を多く有する当地にとっては、交通網が整い利便性が増すことで、産業面でも地域に新たな機能/拠点が呼び込まれることが十分考えられる。
- ・ 越前市は新駅周辺整備のまちづくりのコンセプトを「フォレストシティ&越前市版スマートシティ」とし、地域特性を生かした未来都市の創造を目指す。短・中期的な方向性としては、先端研究施設や学術研究拠点などを誘致する意向を示している【図表 7】。現存する高度な生産拠点に加え、新しい機能を集め、交流することで相乗効果生まれ、域内の付加価値生産性のさらなる向上が実現する。
- ・ さらに、新幹線がもたらす新しい人・もの・考え方を触媒として誘発される地域内のイノベーションにより、地域の付加価値を絶え間なく向上させていく視点が重要である【図表 8】。これまで地域企業や大学が育ててきた技術力をベースにした新規事業創出や脱炭素社会の実現といった新たな挑戦に、地域企業×域外の研究者や地域の学生×域外の起業家など域内外の人材がそれぞれのナレッジを持ち寄りながら、ともに取り組んでいくといった動きにも注目したい。

図表 7：越前たけふ駅周辺整備の方向性



（出所）越前市「南越駅周辺まちづくり計画」（越前らしさを実現する土地利用ゾーニング）

図表 8：イノベーションの触媒としての新幹線



（出所）当行グループ作成

6. 目指すべき方向性と取り組むべき課題

- ・ 本稿で述べてきたように、北陸新幹線開業を契機に、越前たけふ駅をハブとした域外との交流促進や新たな機能の付加により、「越前」の価値が発見され、さらに高まることが期待される。
- ・ ただし、人口 8 万人の越前市にとって、越前たけふ駅の開業による都市機能の重複や都市基盤の分散は回避する必要がある。既に武生駅周辺には生活基盤の集積があり、一定の賑わいも創出されているため、新駅には、遠方からの来訪者の受入や高次機能の集積、情報発信の窓口など、武生駅と重複しない機能を担わせ、地域に新たな価値を生み出す役割が期待される。あわせて、新駅が担う新たな機能が、武生駅周辺の価値向上にも寄与し、ひいては地域住民のウェルビーイングを高める仕組みや工夫も求められよう。【図表 9】
- ・ 言うまでもなく、双方の機能が双方の価値向上に寄与し、好循環を生み出すには、人の交流が必要である。そのためには、新駅-現駅間の二次交通の整備は欠かせない。大規模な整備はもちろん利便性を高めるが、まずは駅に降り立った人にわかりやすい利用案内の表示(サインージ含む)や既存交通網の路線図・時刻のわかりやすい表示、気軽に使えるレンタサイクル導入など、当地に初めて訪れる人や不慣れた人の視点を意識して、できることから着実に取り組む姿勢が大切である。
- ・ 開業の 2024 年には大河ドラマ「光る君に」(主演：吉高由里子)の放送も予定されており、紫式部ゆかりの地域(※父が越前守に任ぜられた際に同行し、1 年余り滞在。京以外では唯一の生活した土地。)として、「越前」はさらなる注目を集めるだろう。源氏物語では「武生の国府に移ろひたまふとも」と都から遠い地として表象されている当地であるが、越前たけふ駅開業により、物理的にも心理的にも域外との距離は縮まり、各地と「つながる」こととなる。新幹線駅開業を契機として、関係者がそれぞれの知恵を集め、「越前」の地に眠るゲニウス・ロキを呼び覚まし、「越前～ECHIZEN～」の地域価値を向上させることが期待される。

図表 9：役割分担のイメージ

	消費の種類	価格帯	ターゲット	地域での役割	伝統的工芸品	製造業
越前たけふ駅	専門品	高い	来訪者	広域循環のハブ	情報発信	研究開発 新規事業
	買回品					
武生駅	最寄品	低い	住民	地域生活のハブ	産地充実	製造拠点 福利厚生

**好循環による
地域住民のウェルビーイング向上**

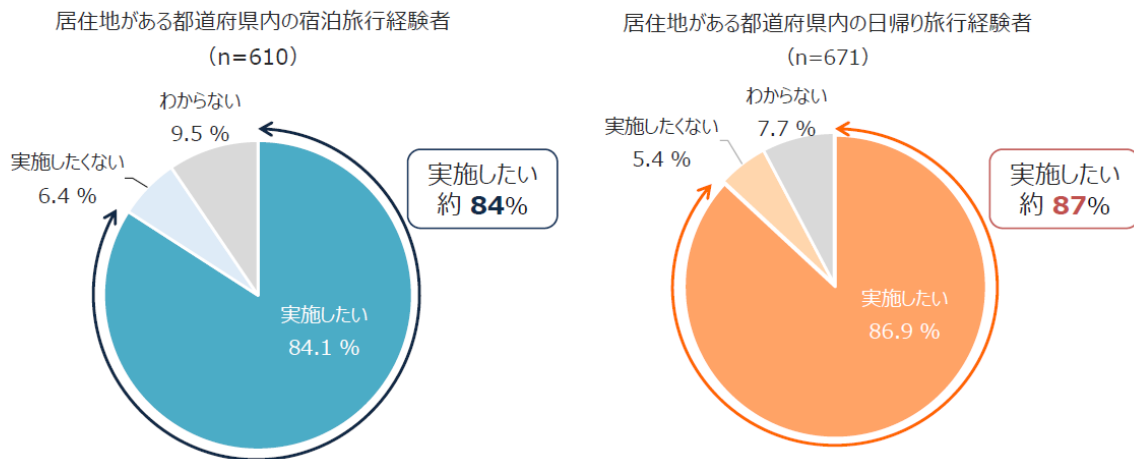
(出所) 当行グループ作成

【Appendix1】国内客/インバウンド客の観光意向調査（抜粋）

①【国内客】マイクロツーリズムの意向

2020年4月以降に、「居住地がある都道府県内の宿泊/日帰り旅行」を行ったと回答した人

今後も、「居住地がある都道府県内に宿泊旅行または日帰り旅行」をしたいと思うか（回答は1つ）



（出所）（株）日本政策投資銀行 地域調査部調査

（注）2021年10月、全国9ブロック×540人＝4860人（20～69歳の男女）に対し、新型コロナが旅行行動・意向に与えた影響についてインターネットによる調査を実施。

②【インバウンド客】次の訪日旅行の予算

日本旅行希望者かつ訪日旅行経験者 次の訪日旅行の予算（回答は1つ）

■ アジア居住者 (n=1,780)

■ 欧米豪居住者 (n=201)

（内側の円（ドット柄）は訪日旅行を含む次の海外旅行全般の予算）

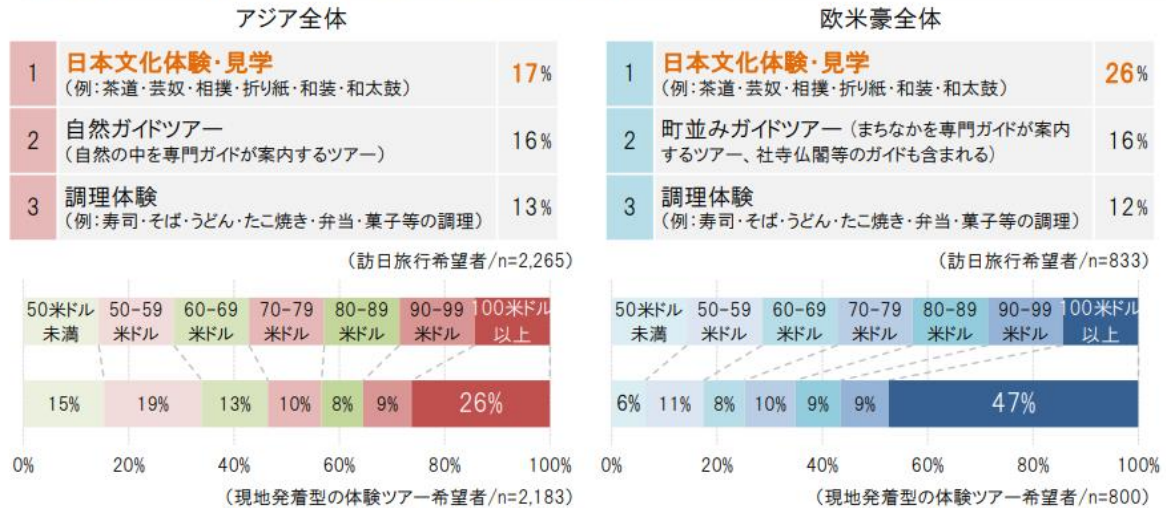


（出所）（株）日本政策投資銀行、（公財）日本交通公社「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（第3回 新型コロナ影響度特別調査）」（2021年10月調査）

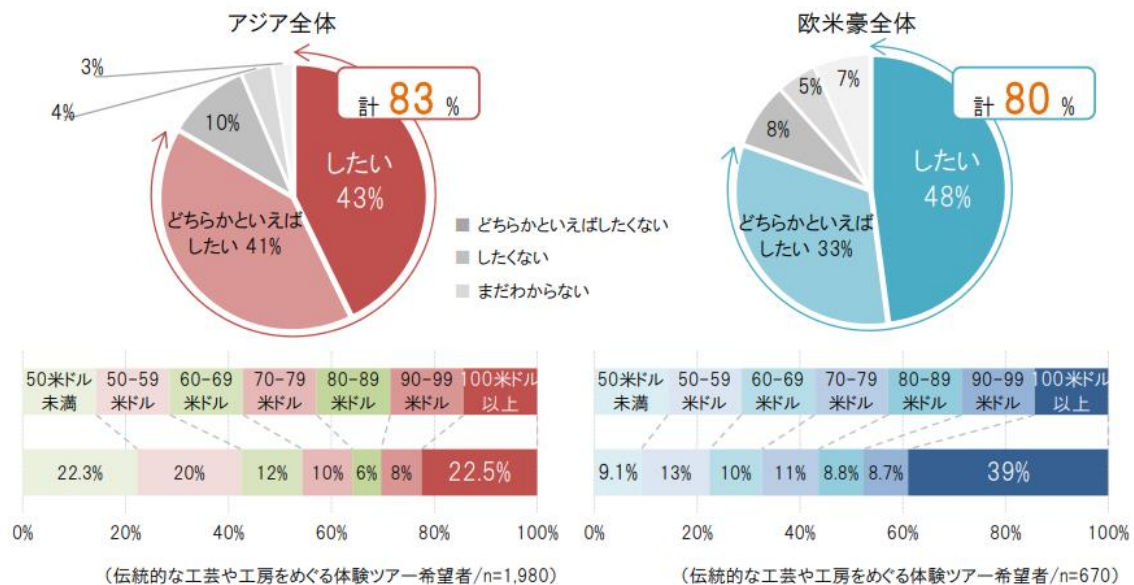
（注）アジア居住者：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア
欧米豪：アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス

③【インバウンド客】日本文化に対する意向

日本滞在中に利用してみたい現地発着型の体験ツアー／払ってよい金額（回答は1つ）



日本の伝統的な工芸や工房をめぐる体験ツアーの参加意向／払ってよい金額（回答は1つ）



(注) 四捨五入の関係で内訳の合計が一致しない場合がある

(出所) (株)日本政策投資銀行、(公財)日本交通公社「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (2019年度版)」(2019年6～7月調査)

(注) アジア居住者: 韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア
欧米豪: アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス

【Appendix2】北陸新幹線敦賀開業により新たに設置される駅の概要

小松駅	加賀温泉駅
 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの伝統を未来へつなぐ『ターミナル』 ・慣れ親しんだ白山の雄大な山並みと未来を感じるターミナル 	 <ul style="list-style-type: none"> ・加賀の自然と歴史、文化を見せる駅 ・温泉郷の風情と城下町の歴史を感じさせる駅
芦原温泉駅	福井駅
 <ul style="list-style-type: none"> ・あわらの大地に湧き出る贅の駅 ・あわら温泉の癒しと旅情が漂う駅 	 <ul style="list-style-type: none"> ・太古から未来へ ～悠久の歴史と自然がみえる駅～ ・悠久の歴史を未来へつなぐシンボルゲートとなる駅
越前たけふ駅	敦賀駅
 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅 ・コウノトリが飛翔する未来への道標となる駅 	 <ul style="list-style-type: none"> ・空にうかぶ ～自然に囲まれ、港を望む駅 ・煌めく大海から未来へ飛翔する駅

(出所)「北陸新幹線 金沢・敦賀間 地域に愛される駅をめざして」(JR TT 鉄道・運輸機構)をもとに当行作成

(注) イメージ画下のフレーズは、上段がデザインコンセプト、下段はデザインイメージを示す。

【Appendix3】これまで公表した新幹線/観光関連の当行レポート

公表年	タイトル
2013 年	北陸新幹線金沢開業による石川県内への経済波及効果
2015 年	北陸地域における産業観光の可能性について
2016 年	北陸新幹線金沢開業による観光活性化が石川県内に及ぼす経済波及効果 – 交流がもたらす経済波及効果は 678 億円 –
2016 年	北陸地域における観光マーケティングの必要性 – DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査より –
2017 年	北陸新幹線開業を契機とした金沢市内におけるホテル投資動向
2019 年	北陸新幹線敦賀開業による福井県内への経済波及効果 – 観光・ビジネス両面からの交流人口増加がもたらす経済波及効果は推計 309 億円 –
2020 年	富山・石川・福井県民のマイクロツーリズムに対する意識調査
2021 年	新幹線の経済・社会効果 ～2010 年以降の 3 県経済のふり返しから～
2021 年	新幹線の経済・社会効果 ～新幹線で動き出した福井市の街づくり～

レポートの全文は、当行ウェブサイトで公表しております。

©Development bank of Japan Inc.2022

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡ください。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：(株)日本政策投資銀行』と明記して下さい。

(お問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行 北陸支店 企画調査課（電話：076-221-3216／E-mail：hrinfo@dbj.jp）